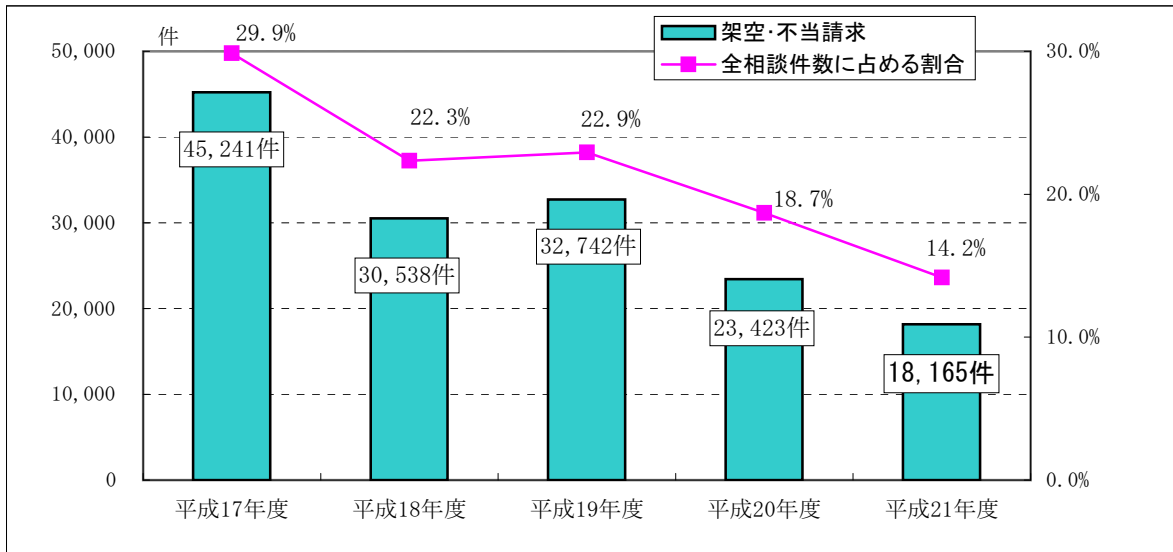


(3) 架空・不当請求に関する相談

(「平成21年度消費生活相談概要」40頁～41頁)

- ① 身に覚えのない代金の請求や不当に高額な請求などの「架空・不当請求」に関する相談は18,165件寄せられ、前年度に比べ22.4%の減少となった。
 架空・不当請求の件数は、過去5年間でみると減少傾向にあるが、依然として多くの相談が寄せられている。(図-7)

【図-7】 架空・不当請求の相談件数の推移



- ② 契約当事者の年代別では「30歳代」が最も多く、また「30歳代」以下の年代で、全体の半数を超える。(図-8)

【図-8】 架空・不当請求の相談 契約当事者年代別 (平成21年度)

